



**採血**のみで簡単に検査できます



アルツハイマー型認知症発症リスク検査

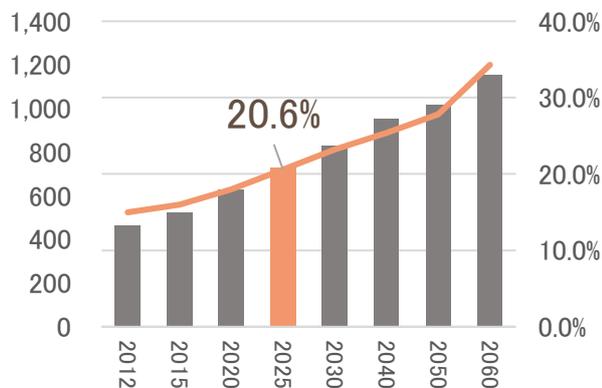
**Prodrome-AD**

【プロドローム・エーディー】

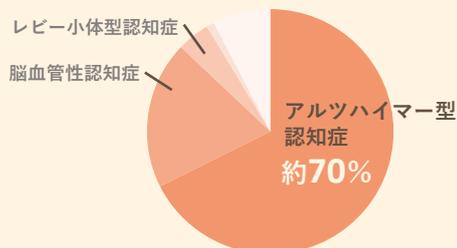


### 認知症とは？

2025年には日本人の約「**5人に1人**」が認知症を患うといわれています



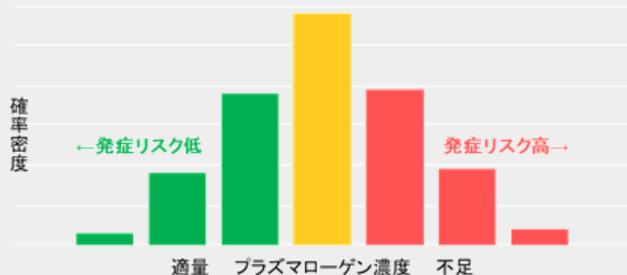
### アルツハイマー型認知症



認知症には様々なタイプが存在し、日本ではアルツハイマー型認知症が全体の約70%を占めています。症状としては、記憶障害・判断力の低下などが挙げられます。

### Prodrome-ADとは？

血中プラズマローゲン毎(標準偏差)の認知症発症分布イメージ図



◎採血 (約2mL) で検査可能

◎アルツハイマー型認知症の**将来リスク**を評価

当検査では、認知機能に関わる血液中のプラズマローゲンと呼ばれる物質を測定します。検査によって得た解析データを過去の臨床データと照らし合わせ、アルツハイマー型認知症の発症危険度(リスク)を予測致します

# Q&A

## よくあるご質問

### このような方に特におすすめします

- 最近もの忘れが増えたと感じる
- 物を置いた場所をよく忘れるようになった
- 口数が減ったと感じる
- 言おうとした言葉がすぐに出てこないことが増えた
- 日にちや曜日がすぐに思い出せないことが増えた



### Q. 検査に食事制限などはありますか？

制限はありません。  
食前や食後に関係なく受診頂けます。

### Q. 実際にアルツハイマー型認知症になっているか分かりますか？

いいえ。実際にアルツハイマー型認知症を診断する検査ではなく、プラズマローゲンの値を測定することで将来的なリスクがどの程度かを調べるための検査です。

### Q. プラズマローゲンの量は改善しますか？

ホタテ/ホヤ、鶏むね肉など、プラズマローゲンを多く含む食品や、サプリメントを摂取することで改善するという報告があります。

### Q. 検査は一度だけ受ければ良いのですか？

年に一度程度、健診や人間ドックに併せて定期的なご受診をおすすめいたします。

### ◆報告書イメージ

**PreMedica**  
Prodrone-AD-アルツハイマー型認知症リスク検査 検査報告書

カルテID: 1111111 | 氏名: メディコ 太郎 | 年齢: 60  
受診日: 2021/2/8 | 性別: 男性

**Prodrone-AD 判定結果**  
Prodrone-ADの結果、プラズマローゲンの値は大幅に低下しており、**高リスク**と判定されました。

**アルツハイマー型認知症リスク検査 Prodrone-AD**

総合評価コメント  
プラズマローゲンとは認知機能の影の輪軸に繋がった必要不可欠な成分です。今回の検査結果ではプラズマローゲンの値が低下しており、アルツハイマー型認知症のリスクが非常に高い状態であると判定されました。必要に応じて専門医の診断や認知検査の受診をご検討下さい。

**検査受診後について**

**低リスク** スコア100-110  
このリスクレベルでは、認知機能検査の結果は正常と見られます。また、リスク管理の観点から定期的な検査の受診をお勧めします。日常生活に注意です。

**中リスク** スコア70-111  
認知機能検査の結果は正常と見られますが、生活習慣を改善し認知機能の低下を予防する必要があると判断されました。リスク管理の観点から定期的な検査の受診をお勧めします。日常生活に注意です。

**高リスク** スコア10-70  
認知機能検査の結果、専門医の受診をお勧めします。必要に応じて専門医の診断や認知検査の受診をお勧めします。日常生活に注意です。

**アルツハイマー型認知症のリスク要因**

**アルコール・喫煙**  
認知症発症リスクを高める要因として知られており、喫煙は認知症発症リスクを低下させる可能性があります。

**ストレス・社会的孤立**  
認知症発症リスクを高める要因として知られており、社会的孤立は認知症発症リスクを高める可能性があります。

**運動不足・肥満**  
認知症発症リスクを高める要因として知られており、運動不足や肥満は認知症発症リスクを高める可能性があります。

**糖尿病**  
認知症発症リスクを高める要因として知られており、糖尿病は認知症発症リスクを高める可能性があります。

**プラズマローゲンを改善するために...**

プラズマローゲンは、脳内では認知機能の維持に不可欠な成分であり、酸化ストレスによって減少することが知られています。また、生活習慣の改善によってプラズマローゲンの値を改善することが期待されています。

**ホタテ/ホヤ**、**鶏むね肉**、**サプリメント**

**◆ Prodrone-ADについて**

**検査結果**  
本検査では最新のプラズマローゲン定量法を用いています。プラズマローゲンは、認知機能の低下と強く関連しているため、プラズマローゲンの値を測定することで認知症発症リスクを評価することができます。

**結果判定**  
プラズマローゲンの値が正常範囲内にある場合は低リスク、中リスク、高リスクと判定されます。また、認知機能検査の結果も合わせて総合的に評価を行います。

**検査結果の対応**  
検査結果を見直し、リスクの低減を図るとともに、定期的な検査の受診をお勧めします。また、必要に応じて、専門医の受診をお勧めします。

**◆ プラズマローゲンと認知機能について**

日本においてアルツハイマー型認知症の有病率は高齢化に伴って増加傾向にあり、認知症発症リスクを評価するための重要な指標として知られています。本検査では最新のプラズマローゲン定量法を用いており、認知機能の低下と強く関連していることが期待されています。

## <検査に関する注意事項>

- ※当検査は疾患の有無を確定するためのものではありません。
- ※当検査はアルツハイマー型認知症のリスクを判定する保険未収載の検査です。